

# 一般質問発言通告書

発言順位 2番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和6年2月14日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 15番 高田 康子

質問事項1	こども家庭センターについて
具体的内容	昨今、子どもに関する貧困や虐待など色々なことが問題視され、そのような問題があるたびに支援体制などが重要視されてきました。 子どもの虐待や貧困は子どもだけではなく、その周りの大人などを含めてのケアが必要で、特に子どもにおける問題は、子どもだけではないと感じます。 令和4年6月に改正した児童福祉法に基づき、令和6年4月から、各自治体に「こども家庭センター」の設置が努力義務となりました。
	1 こども家庭センターの業務はどのようなものか、三島市の特色のあるサポートなどについて伺う。
	2 こども家庭センターにおける産前産後のケアはどのようなものがあるか。
	3 障がいのある子のケアについて、どこまでこども家庭センターが関わるのか。
	4 こども家庭センターにおけるヤングケアラー、レスパイトケアの現状について
質問事項2	三嶋大祭りについて
具体的内容	三島きっての大事業の夏に行う三嶋大祭りは三島っ子なら切っては切れない行事である。三島市民11万人の人口の中、一昨年の大泉洋さんが出演した大祭りは3日間で54万人の人出、過去最高は永井大さんが出演した2014年で、3日間で延べ57万人という人出となっています。 三島市の最大のイベントである三嶋大祭りを、もっと三島市のアピールや観光に使うことはできないか伺います。
	1 三嶋大祭りはどこが主体となって行っていて、詳細をどのようにして決めているのか。
	2 三島市として、この一大イベントの大祭りに対してどのように思っているのか。
	3 三嶋大祭りを観光資源としてさらなる三島市のアピールに繋がられないか。
質問事項3	多様な性を認め合い、個人が個人として生きられる世の中を考える
具体的内容	昨年の12月に三島市の主催により「多様な性を認め合える社会へ 身近にいるかもしれないLGBTセミナー」が開催され、性的マイノリティやジェンダーレスへの理解が進んできたと感じる。また、静岡県では令和5年3月1日から「静岡県パートナーシップ宣誓制度」を開始しました。
	1 今後、このようなセミナーの開催等、三島市における取り組みなどはあるか。
	2 「静岡県パートナーシップ宣誓制度」に対して今一步、踏み込んだ政策はあるのか。
	3 三島市でも個人が個人として生きられる支援をどう考えているか。